

3類型	鉦工業品及びその生産技術	通巻番号	8-19-006
地域資源名	三川内焼	認定日	平成19年10月12日
地域	長崎県佐世保市	所管省庁	経済産業省

事業名：三川内焼のルーツである平戸焼再興による“NEO-MIKAWACHI” 開発事業

会社名：三川内陶磁器工業協同組合

所在地：長崎県佐世保市三川内本町343

連絡先：TEL:0956-30-8311

FAX:0956-30-8312

HP:<http://www.mikawachi-utsuwa.net/>

事業概要(新たな活用の視点)

・400有余年の歴史を持つ三川内焼は、平戸松浦藩の御用窯としての由緒ある歴史と伝統ある「精巧緻密」、「繊細優美」な作風をもった陶磁器。近年は、国内消費の伸び悩み、他産地商品との競合等を背景に、売上の低迷が続いており、新商品展開を通じた産地再生が望まれているところ。

・戦前でとぎれてしまった高度な装飾技術を用いた平戸焼を再現し、その技術を応用活用した現代のニーズを踏まえた商品展開を図る。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・既存の三川内焼にはない、ひねりや彫り等の手づくりならではの技術による平戸焼の技術を再興し、現代の生活にマッチした商品展開を図る。

◆市場性

・日用和飲食器生産規模は、512億円(H17工業統計)。付加価値の高い商品を求める顧客の増加等需要は多様化している。
・従来の飲食器にはない、高い芸術性を備えた美術的価値・歴史的検証を踏まえた商品づくりにより、他産地商品や輸入製品にはない、市場獲得が期待できる。

◆販路

・首都圏の陶磁器専門業者、大手流通業者を通じ、美術性や芸術性の高い高級陶磁器市場を中心に狙う。

地域資源における関係事業者との連携

・原料とする土の開発や試作品等の技術評価等において、長崎県窯業技術センターと連携する。

【三川内焼】



染付獅子文龍巻花瓶
(幕末)



ぼたん盛り絵花瓶
(明治時代:嘉泉窯作)